



サンルダムに電波塔は絶対必要

町長 粘り強く要望する

大西 功 議員

サンルダム周辺の 通信網整備

質問

3月の定例会で行つた質問の中で、サンルダム周辺での携帯電話の電波の現状について質問した。そ

の時、はつきりとした答えはなかつたが、あれから6か月が経ち、どのような状況なのかを確認したい。

町長

情報通信技術の進歩により、通話をはじめメール、ソーシャルメディアなど、携帯電話は通話のみならず、様々な情報伝達などを人々の日々の暮らしに欠かせないものとなつた。

携帯電話の不感地域の基地局整備については、民間事業者による整備が基本であるとの考え方から、以前から道道下川愛別線など町内の電波状態が良くない地域を中心に、数回にわたり整備要望を行

っているが、住宅等が存在しない地域には依然として整備が進んでいない状況である。

サンルダム周辺の通信網整備については、現在、ダムサイトより奥の地域は、

地形の関係上、電波が届きにくい地域となつており、携帯電話が使用できない状況となつてている。サンルダム事業完了に伴い、サンルダム建設事業所としては、サンルダム湖周辺の通信手段は無線対応を予定しており、携帯電話中継基地の設置要望については行つていない。

ダム工事完了後のダム湖周辺の利活用にも影響があるが、携帯電話事業者においても整備の予定はなく、

多くの視察者が魚道が7kmを超える施設であるので

が今後想定される。さらに周辺には町有林、国有林があ

り、そこでこの産業として

従事されている方々がいる

ので、その方々の利便性も

引き続き、携帯電話事業者、関係機関に粘り強く要望していきたい。

再質問

防災、救急の観点からも、サンルダムには携

帯電話の電波は絶対必要だと思う。今後も交渉してほしい。

引き続き、携帯電話が必要になると、携帯電話が必要な地域には依然として整備が進んでいない状況である。そこで、この辺りからも積極的に関係者に働きかけができれば鉄塔が建つよう努めたい。

